

2012年12月28日

発行：匠の会事務局

幼工事の 作業工程

- ・段取作業
- ・機内配線
- ・I/Oチェック
- ・制御ソフト
インストール
- ・装置 調整
及びデバック
- ・検査成績書
作成
- ・装置解体
- ・現地立上
- ・試運転調整
- ・お客様引渡し

メカ工事の「匠」

ハード・ソフトの融合を行い
『匠と呼べる集団』となる。

機内配線作業

機内配線とは、機械内の配線のことで電線は全てケーブルにて行っています。

一人一人の作業技術が安定した品質を確立させ、不具合を未然に防いでいます。

実務経験も豊富で、電気工事士の免許もほとんどの者が持っています。電気を通して繋ぐことが、理解されて作業を行っています。

きれいに仕上げた配線ほど、不具合がありません。
常に、作業向上のために工夫をしています。

無理な姿勢での作業は、ストレスが掛かる
同じように、ケーブル配線でも無理な接続、特に可動部などは、可動するときに固定されている所にストレスが掛かります。
どんなに良いケーブルでも固定部にむりがあればストレスが掛かり断線となります。
事故、トラブルの原因となります。

機内配線の極め付け：

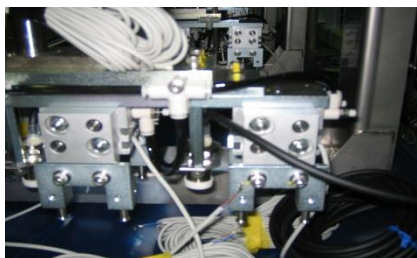
<安全作業>

機内配線工事作業中、安全ヘルメット、手垢が付かないようにクリーン手袋を着用しています。



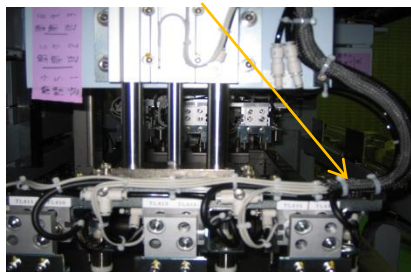
<配線工事例>

機内配線工事前



機内配線工事実施後

{ シリンダーの可動部の配線固定にストレスが掛かっていません。 }



制御盤から装置への配線ルート

{ 垂直、水平を基本として取り組んでいます }



配線技術
者 = 現場
設計者



作業終了後、配線ネジの増し締め確認を実施。「増締め完了」シールを貼る。

